

トマト



育苗

床土(培土)



●畑の大将<青> 1~3%を培土に混和しておくか、1ポット当り30gほどを置き肥すると、徒長せずガッシリ充実した苗ができる。

散水時に使用



●根っ酵素500倍液 →根を強く動かし、生長を促進、シオレ防止。

葉面散布・灌水をかねて、タツプリ散布。水だけの散水はせず、薄くても、どちらかを混ぜる。なるべく水やりを省略できるように。

●花咲くCa液500倍 →茎葉を厚く充実させ、健全な体質を作る。

※播種後、接木迄、毎日~3日間隔、1000~2000倍液を交互散布で茎を太く。

※接木4日後から、3~7日間隔で、最初だけ1000倍、以後500倍で交互に葉上からタツプリ散布。ただしその時の苗の状態によって適宜どちらを散布するか決める。高温期の育苗ではCa液の連用で節間の短い、充実した苗を作るのが効果的。

※移植時には 酵素液500倍をタツプリ散布して根を動かす。

※定植5日前には、苗の仕上げに、Ca液を散布して充実させる。

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
本畑の地力作り	なるべく早い時期に投入し、なるべく深く耕耘しておく	<p>●ラクトバチルス600g →排水がよく、深層まで肥沃な土を作る。</p> <p>●堆厩肥2トン (なるべく多く。または有機物、米ヌカなら180kg以上) ※前作のトマト茎葉は出来る限りスキ込む事。(ウィルス病株を除く) ※堆厩肥の量が少ない場合は、複合肥料を施す。(各成分12kg)</p> <p>●硫安60kg(もし通常の複合肥料ならチッソ成分12kg程度) ※チッソは有機化・地力化して、ジワジワと効く。チッソを増やしても、植付け時には土壌EC:0.2以下と適正範囲になるので、半年以上の長期栽培(15トン)では硫安80~120kgと多肥を推奨。</p>
本畑の整地時	整地・ウネ作り前に全面散布 (根を全面に伸ばすために、ウネ上への局所的な施用はしない)	<p>●畑の大将<青> 60kg ※土壌pH:6.5以上と高い場合は畑畑の大将<赤>を施す。 ※カルシウム量はチッソ量と見合うように、多めの施用を推奨。</p> <p>●マンヅク粒状50kg →根張り・生長促進、線虫・青枯れ・導管病の予防。 ※もし特に心配な園で農薬の土壌消毒をした場合は、毒性が抜けた後に米ヌカ等に混ぜて、ラクトバチルスを補う事。(同時施用可能)</p>
植付け時	苗のドブ漬 植付け直後の灌水	<p>●根っ酵素500倍液 →活着・初期の深層への根張り促進。 線虫・萎凋・青枯れ・かいはよう病の軽減。モザイク・黄化萎縮の広がりもかなり抑制。</p>

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
前半～ 栽培中 ※特に定植後 半月間は、 なるべく細かな 世話をしない事	定植後1ヶ月半、 4段目開花前迄 〈根と体質を作る〉 灌水使用 ※以後も同様に、交 互の灌水を半月ま たは1月間隔で繰 返すと効果的 ※月1回だけ葉ツユを うつように	●根っ酵素2ℓをチューブ灌水(倍率は200倍以上、適宜) ※定植後半月間、2段目開花後迄に、根を土の深層まで働かせる ために、一度、酵素液を加えてタツプリと灌水する。(ただしカル シウムが効いている事) この時期には既に根が20cm深・通路中央まで伸びて来る筈。 (なお、トマトでは是非とも畑に穴を掘っておき、根を観察する) ●花咲くCa液2ℓをチューブ灌水(倍率は200倍以上、適宜) ※定植後1ヶ月、3段目開花の後1週間内に、Ca液を灌水する。 これは1～3段目の果実と、4～6段目の花芽を同時に支える大 人の体質を作る為である。桃太郎系の品種では異常茎(メガネ) 対策となる。 更にその3～5日後に、酵素液の灌水をすると、以降の生長が 旺盛になる。この時期まで原則として追肥は不必要。チッソを 効かせないように。
追肥 ※必要分だけ、 バランスをとって	4段目以降・2段ごと、 開花1週間後に 追肥(1ヶ月ごと) 右記を同時に施用	●硫酸20～30kg(または アミノ酸液 10～20ℓ 灌水) ※トマトでは肥料は株から離して、なるべくすぐ効かないように施す。 ●畑の大将〈青〉20～30kg ※土壌pH:6.5以上と高い場合は田畑の大将〈赤〉を施す。 ※特にどちらかが必要と判断される場合以外は、硫酸(チッソ肥料) を追肥する時には必ずカルシウムを同時施用する。(混合した まま長期間おかない事)
葉面散布	栽培中の草勢調節 葉面散布 (適宜、7日ごと交互) ★右記は一例	●根っ酵素500倍液 →根の強化・草勢維持・果実肥大・導管病予防。 ●花咲くCa液500倍 →乱形果・灰色カビ・スジ腐れ・尻腐れを減らす。 ※各段の開花3日前頃、酵素液で根を動かす。 (カルシウムが効いている事) ※各段の開花後4日目頃、Ca液で3段上の花芽分化をよくする。

(トマト栽培)カルテック資材(10アール当りの必要量)

資材名	量
ラクト・バチルス	600g
畑の大将(青)又は田畑の大将(赤)	10～12袋
マンゾク粒状	5袋
花咲くCa液	3ℓ以上
根っ酵素	3～5ℓ以上
アミノ酸液	20ℓ